

2013 年度後期

授業評価アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 8

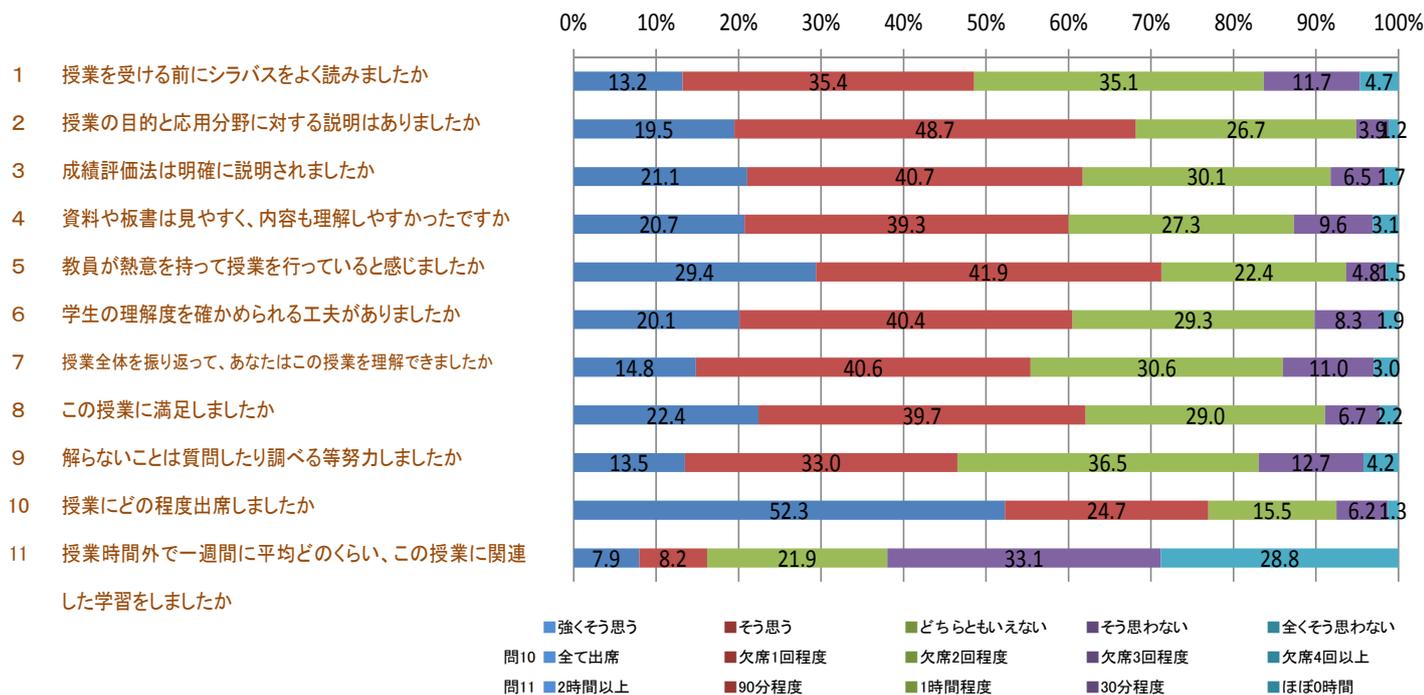
《 学生の皆さんへ 》システムデザイン学部・研究科では 2014 年 1 月 6 日～2 月 4 日の期間、学部と研究科で後期に開講された講義科目を対象に授業評価アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。

ご協力大変ありがとうございました。

アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。
詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

システムデザイン学部

(開講授業科目数 89 のうち 74 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

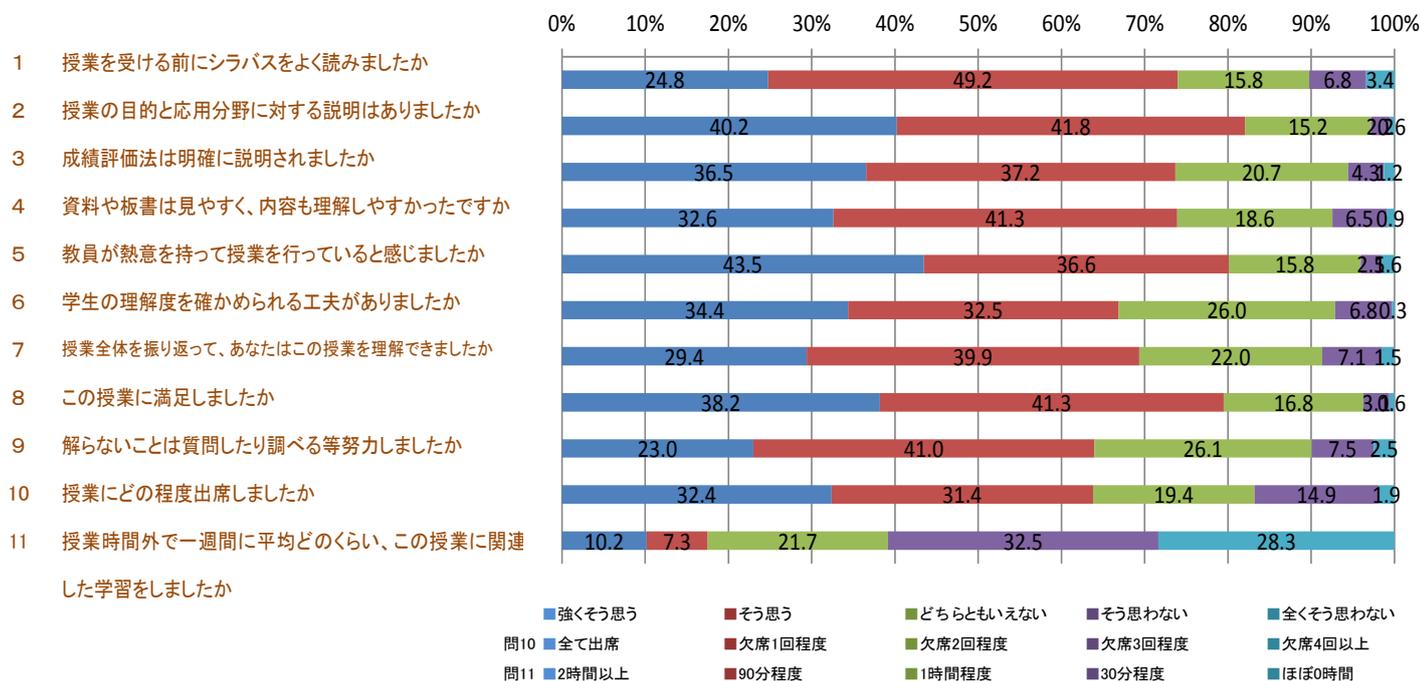
- ・演習時間がきっちり決められていて、授業に対する興味を保ちやすかったし、理解を深めることにも役立った。
- ・先生が面白く分かりやすく授業と、それ以上のことを伝えようという熱意が伝わってきた。
- ・自主学習のために練習問題及び解答を与えて欲しかった。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・授業で教える知識の量を確保するため、PPTを用いた講義とし、資料は配布した。途中で2回、演習を組み入れた。
- ・内容が多く、時間内にどう収めるかが課題。

システムデザイン研究科

(開講授業科目数 36 のうち 33 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・多様な分野の履修生がいることを加味して、達成度をゆるやかに設定したのが良かったと思う。
- ・配布資料とPPTが異なる部分が多かった。そういった時は、ゆっくり説明して頂けると助かります。
- ・課題が多めで少々大変だったが、発表の機会が多い等自分の力をつける面で役立ったと感じる。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・調査、議論を多く盛込んだ。学生にプレゼンさせ、まとめる能力、プレゼン能力育成に努めた。
- ・一方向の座学になりがちであり、また学生が予習復習を充分やっていない状況であり、授業中に演習を実施し、理解度の確認を行った。

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2013 年度後期授業改善アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。例年同様の高い回収率(学部: 83.1%、研究科: 91.7%)でデータを得ることができました。これらのアンケート結果は回答者個人が特定できないような形に処理された上で、個々の教員にフィードバックされ、教育状況の把握と授業改善の参考に利用されています。授業担当者は上記に示したような様々な授業の改善に取り組んでいます。このような工夫を学生の皆さんが感じている部分もありますが、そうでない部分については授業において積極的に発言すると教員と学生のお互いにとって有意義な授業を作っていけるのではないのでしょうか。今年度前期もアンケート実施を予定しておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2014 年 7 月 17 日